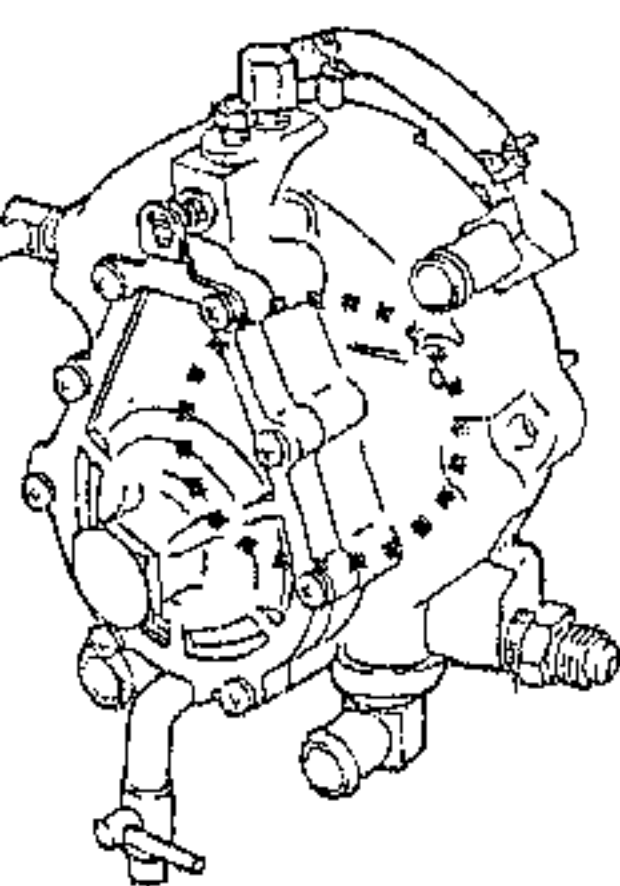
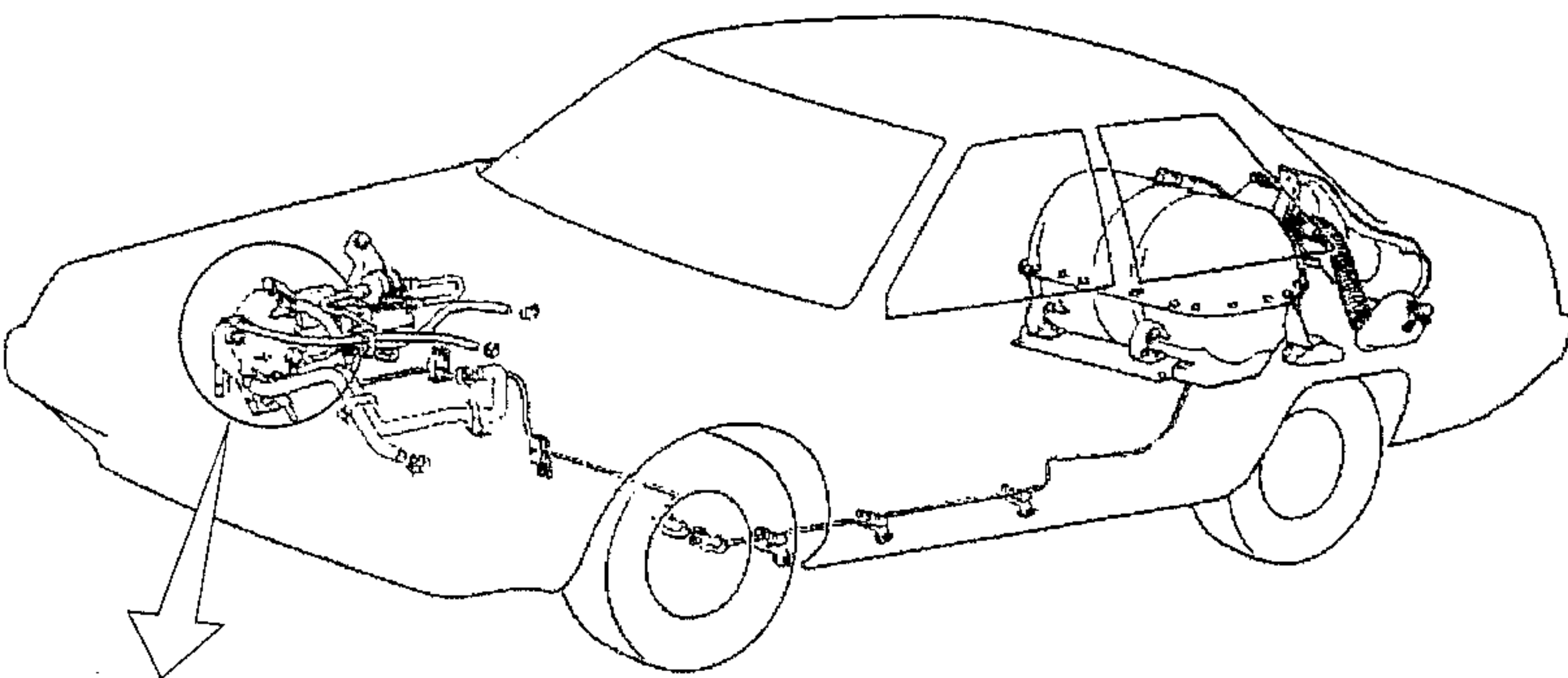


改 善 箇 所 説 明 図



ベーパーライザ

不具合発生箇所

液化石油ガス（LPG）自動車の手動変速機付車において、燃料装置のベーパーライザ（LPG気化装置）の燃料供給量の設定が不適切なため、左急旋回時にアクセルを放しクラッチの接続を切った場合、燃料供給量が不足することがある。そのため、最悪の場合、クラッチの接続を切っている間エンストし、ハンドルの操作力が増大するおそれがある。なお、クラッチを接続することによりエンストは回復し、通常状態に復帰する。

改善の内容

全車両、ベーパーライザの識別を点検し、未対策品が装着されているものは対策品と交換する。

注： 内は交換部品を示す

識別：ベーパーライザ本体前面の六角ボルトの頭部に白色または黄色のペイントを塗布する。